

音楽で親子を笑顔にしたい



地域子育て支援センターあいあい、リトミックを指導



プレコンサートの様子。歌で絵本を読み聞かせた



リトミックを広める

7月と11月に、地域子育て支援センターあいあい、「親子でリトミック」が開かれた。リトミックとは曲に合わせて体を動かしたり、楽器を自由に鳴らしたりして楽しむ音楽教育の一つ。参加した幼児と母親が、リズムに合わせて楽しそうに体を動かしていた。指導するのは板垣恵さん。現在4歳と2歳の子を持つ母親でもある。子どもが生まれたことを機に興味を持ち、指導者の資格を取得した。「体と頭を使いながら、親子が楽しく触れ合えるので、ぜひ広めていきたいです」

親子のためのコンサート

プロの演奏家を招いてコンサートを開く「北広島室内楽を楽しむ会」の代表も務めている。板垣さんの両親と友人たちが始めた催しで、本格的な演奏を身近に楽しめるこ

ソプラノ歌手

板垣 恵さん

いたがき・めぐみ
青葉町在住。
本名は高木恵。板垣恵の名前で音楽活動をしている。武蔵野音楽大学卒業。同大学院修士課程修了。ソロリサイタルなどを開催するほか、北海道二期会オペラへの出演をはじめ多くのコンサートにソロリスト（独唱者）として出演。北星女子高等学校音楽科講師。

とから、多くの市民に親しまれ長く続いてきた。板垣さんは昨年の61回目から代表を引き継いだ。自分に務まるのかと悩んだが、「恵ちゃんがやるなら、手伝うよ」とのスタツフの声に背中を押された。

代表になった時、どうしても実現させたい夢があった。小さい子がいる家族に、周囲に気兼ねなくクラシック音楽を楽しんでもらえる演奏会を開くことだ。そこで、昨年初めて0〜6歳の子どもと親を対象にしたプレコンサートを企画。子どもが声を出したり、動き回ったりしても大丈夫ということ、多くの親子が訪れた。公演の出演者が、子どもに親しみやすい曲を演奏し、板垣さんも歌を披露。「はらぺこあおむし」の大型絵本を歌で読み聞かせた時、子どもだけではなく親も夢中になった。その様子を見て、やって良かったと実感した。「次は、どんなことをしようと

考えるだけで、わくわくします」

子育てをしながら活動

プロのソプラノ歌手として道内外で活動する板垣さん。歌を主にした音楽教室の主宰、女声コーラスの指導、保育園などでのミニコンサート出演など、多方面で活躍している。「家族や周囲の皆さんが手伝ってくれたおかげで、子育てしながら活動を続けることができました。これからも依頼があれば、できるだけ出向いて歌いたいです」と、にこやかに話した。

家の近くの遊歩道や公園でよく子どもたちと散歩をするそう。「北広島は季節を感じる心地良い場所がいっぱい。緑が多く、子育てをするには最高の町だと思います」。この町で多くの人に音楽の楽しさを伝えたい。自分と同じ子育て中の親に癒しを届けたい。そんな思いを胸に、活動を続けることだろう。

